



道しるべ



トップメッセージ

高齢者の定義は75歳以上に!?

診療科／チーム医療のご紹介

耳鼻いんこう科／排尿ケアチーム



理念 信頼され愛される病院
社会医療法人 愛生会

<http://www.aiseikai-hc.or.jp/>

医療は愛生会

検索



高齢者の定義は75歳以上に!?

社会医療法人 愛生会

理事長 加藤 知行
かとう ともゆき



の報告書が契機だそうです。この年に男性64歳、女性68歳だった日本人の平均寿命は2015年には男性81歳、女性87歳と15歳以上も延びており、65歳になってもまだまだ元気と思っている人が多いでしょうから納得できます。

私が若手の外科医だった1970年頃は、65歳を超えた人に大きながんの手術はできないと考えられていたので、当時東京都養育院（現東京都健康長寿医療センター）から90歳を超えた人の多数例での胃がん手術の報告があった時は驚嘆しました。今では、80歳、90歳を超えた人の手術は珍しくなく、高齢の方でも安心して手術ができます。その間の医療の進歩もありますが、日本人の心身の活動能力が向上したためでしょう。

現在は65歳以上を高齢者としていますが、今年1月に日本老年学会と日本老年医学会は前期高齢者とされる65～74歳は「心身の健康が保たれ、活発な社会活動が可能な人が大多数」であり、高齢者の定義を医学的に「75歳以上」に引き上げるべきだとする提言を発表しました。

65歳以上を高齢者としたのは1956年の国連

74歳まで現役として活動できることを医学的に保障されたことは、喜ばしいことです。雇用の延長や年金を初めとする社会保障など社会基盤の整備の問題はありますが、15～64歳とされている生産年齢人口が74歳まで延長されれば、減りつつある労働力人口の減少がぐいとめられますし、多くの人の生き甲斐にもなります。

年をとったらフレイルに注意

しかし、年を重ねれば心身の衰えは確実に現れます。75歳以上の高齢者における要介護の原因の第1位はフレイル（虚弱）です。厚生労働省は2018年からの第7次医療計画に、いままでも取り組んできたがん、脳卒中、急性心筋梗塞、糖尿病、精神疾患の5疾患に加えて、フレイルなど高齢化に伴い現れる状態に対し、介護予防の観点も含めた医療体制の整備の重要性を取り上げます。

フレイルとは高齢者が要介護状態に陥るまでの筋力の低下、活動性の低下、認知機能の低下、精神活動の低下など健康障害を起こしやすい脆弱な状態を指します。フレイルになっても慢性疾患の管理、十分に栄養を摂る、適切な運動、社会参加を積極的に行うことで再び健康な状態に戻ることができます。フレイルにならないように、なりかけたら要介護状態に陥らないように心がけましょう。





総合上飯田第一病院

健診センターのご紹介

人間ドック・健診を

現在日本人の死因の約7割が、悪性腫瘍・心臓疾患・脳血管疾患で占められるといわれ、これらの病気の早期発見・早期治療が、健康な生活の維持のために重要となっています。人間ドックや健診を受けていただく事は、病気の早期発見のみならず、今後病気を発症する可能性がないか、日常生活の中で改善するところはないかをじっくりと知る良いきっかけになります。

当院では外来の一部門にて長年健診業務を行っておりましたが、平成19年に北館外来棟6階に総合健診センターが新設されました。以降毎年多くの方にご利用いただいております。

総合病院併設という特徴を活かし、必要に応じた各専門診療科による万全なフォローアップ体制を整えております。

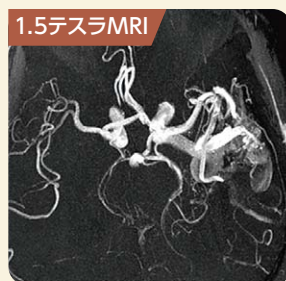
より負担の少ない検査を

上部消化管検査では、胃X線透視検査のほか胃内視鏡検査も積極的に実施しております。

当院では平成25年3月に北館外来棟2階に内視鏡センターが開設され、日本消化器病学会・日本消化器内視鏡学会の指導医・専門医が検査を行っております。

また従来の経口カメラと比較して太さが約半分(5〜6mm)の極細径内視鏡を用いた経鼻内視鏡を導入しており、より苦痛が少なく快適に検査を受けていただけるようになりました。

また脳の病気の早期発見のため、脳ドックも実施しております。従来の1.5テスラMRIと比較して、より画像情報が多く診断能にすぐれた3テスラMRIを導入し、脳神経外科専門医が診断を行っております。



より画像情報が多く診断能にすぐれる

女性向けには乳がん・子宮がん検診を実施しております。マンモグラフィー・乳腺超音波検査は当院乳腺センターで行っており、いずれも女性技師が担当いたします。乳腺外科・婦人科ともに女性医師による診察も対応しており、より受診しやすい体制づくりに努めております。



女性専用待合室



女性更衣室

保健指導について

特定健診(メタボ健診)では、該当する方を対象に保健師による特定保健指導を行っております。日頃の食事や運動等の生活習慣をチェックし、生活習慣病を発症しないよう半年にわたって健康支援を行います。面談やメールでのご相談も適宜行い、ご本人のモチベーションが維持できる支援体制を心がけております。

アレルギー性鼻炎の新しい治療法

アレルギー性鼻炎って…

風邪でもないのに「くしゃみ、鼻水、鼻づまり」に悩まされる…

その症状、アレルギー性鼻炎かもしれません。

年間を通して起こる「通年性」と、一定の季節に限って起こる「季節性」の2つがあります。

「通年性」の主な原因はハウスダストですが、それ以外にペットなどもあります。

「季節性」のほとんどはスギやヒノキ、ブタクサなどの花粉が原因です。

こんな症状がある方は、受診をされてはいかがでしょうか？



耳鼻いんこう科 部長
くのかやお
久野 佳也夫

シーズンオフにできる治療

花粉症のシーズンがようやく過ぎようとしていますが、鼻や眼、のどのトラブルになやまされている方はまだ多いと思います。シーズンオフにこそできる、治療法についてご紹介します。

花粉症を含めたアレルギー性鼻炎の治療法には、主に4種類あります。

- ① 刺激の原因となる物質を身辺から除去する「**抗原除去**」
- ② アレルギー反応をおさえる薬（のみ薬や点鼻薬）を用いる「**薬物療法**」
- ③ 鼻の中で反応をおこす力を落としてしまう「**手術療法**」
- ④ 反応の原因となる物質の刺激に体を慣らしてしまう「**免疫療法**」



このうち「抗原除去」と「薬物療法」は症状が出現しそうなときにあわせて行わないと効果がありませんが、「手術療法」と「免疫療法」は今後に備えてシーズンオフに行うことが可能です。

手術療法

鼻粘膜は血管が豊富で、刺激を受けると拡張したり、分泌物を増やしたりします。これらが鼻づまりや鼻水の原因となり、また刺激物を排除しようとしてくしゃみ反射もおこします。粘膜を薬品や高周波電流、レーザーなどで変性させれば、処置を行った部位でのこれらの反応をおさえることが可能です。また反射のコントロールをしている鼻内の神経を切断すれば、鼻全体での反応を抑えることができます。

免疫療法

原因物質の刺激性を弱めた薬を毎日服用することで、体を慣らしてシーズンが始まっても過剰な反応をおさえることができます。10年以上前は注射薬しかなく手間がかかりましたが、スギとハウスダストについては経口薬が開発されて治療が簡便化されました。弱いといっても病気をおこす物質を意図的に摂取する治療ですので、せめて半年程度はかけてゆっくり効果をあげる必要があり、シーズンオフに行う治療としてはぴったりでしょう。

主な花粉の シーズンカレンダー

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
スギ・ヒノキ科												
イネ科												
ヨモギ属												
ブタクサ属												
カナムグラ												

花粉症は毎年症状の程度が変わります。

検査や治療の相談は耳鼻いんこう科で行っていますのでお気軽に受診してください。



排尿ケアチーム

「排尿ケアチーム」 とは

排尿に関するケアに係る専門的知識を有した泌尿器科医師、皮膚・排泄ケア認定看護師、理学療法士からなるチームです。**人間にとって失禁や頻尿とは他者に相談しづらく個々で悩み、外出を控えてしまうなどQOL(生活の質)を低下させてしまう大きな問題です。**そんな問題を抱えている患者さんに、専門的な観点から問題が少しでも解決できるようチームで関わっています。

排尿ケアチームの特徴

加齢や病気が原因で排尿機能は低下していきます。頻尿や尿失禁、尿漏れ、尿が膀胱に溜まってしまいしっかり出し切れないなど、排尿障害といってもさまざまな症状があります。

また、治療のために膀胱留置カテーテルを挿入することがあります。カテーテルを抜去した後に排尿障害が出現する可能性がある患者さん、または実際に排尿障害が出現してしまった患者さんに排尿ケアチームが中心となって病棟スタッフとともにサポートさせていただきます。



チーム紹介



泌尿器科医師 はっとり しんいち 服部 慎一(泌尿器科医長)〈写真中央〉

カテーテルのない生活を目指して、粘り強く関わっていきます。尿のことで困らない快適な生活を目指しましょう。

皮膚・排泄ケア認定看護師 はやし よしみ 林 佳美〈写真左〉

入院前の排泄行動に戻れるよう排尿ケアチーム一丸となって関わらせていただきます。些細なことでも大丈夫です。ご相談お待ちしております。

理学療法士 ほ みおこ 帆 濤子〈写真右〉

「トイレに行きたいが間に合わない」「トイレへ行くのが大変」など主にトイレ動作の問題について検討していきます。必要に応じてベッドやトイレ周辺的环境整備、補助用具の選択も行っていきますので、お悩みの方はお気軽にご相談ください。

活動内容

●病棟内ラウンド

週に1度患者さんのベッドサイドに訪室し、症状の確認や困っている事などに対応いたします。

●排尿ケアチームカンファレンス

排尿ケアチームのメンバーで患者さんの排尿状況、リハビリの状況などを話し合います。



第17回

市民公開講座

テーマ 「知って得する 糖尿病の話」

平成29年 1月21日(土)

来場者数 96名

大寒の翌日でしたが、多くの方が来場してくださいました。

演題 1 糖尿病から眼を守るために



講師
総合上飯田第一病院
眼科部長
ふるかわ まりこ
古川 真理子

糖尿病網膜症は糖尿病の代表的な合併症の一つで、血糖が不良な状態が長年続くと発症してきます。糖尿病網膜症になると、黄斑浮腫、硝子体出血、続発網膜剥離、血管新生緑内障などによって視力障害や視野障害をきたし、最終的には失明に至ります。

治療法には網膜光凝固、薬剤注入治療、硝子体手術があります。網膜症は必ずしも自覚症状が表れるとは限らず、末期状態まで自覚症状が表れないことがあります。糖尿病の患者さんは、血糖管理を行いつつ定期的に眼科を受診すれば、適切な時期に適切な治療を受けることができます。自覚症状がないからといって過信せず、健康診断を受けるようにしましょう。

演題 2 一度聞いたなら忘れない糖尿病に交わる語呂合わせ



講師
糖尿病看護認定看護師
かわい ともこ
河井 智子

血糖値の正常値、HbA1cの見方、高血糖や低血糖の症状、合併症、足の観察の仕方など語呂合わせで紹介しました。健康維持のために「まごわやさしい」食品を摂り、「さんさん運動」の実践を取り入れた生活が送れると、合併症の予防

や進行にもつながります。糖尿病との付き合いは「たちつてと」を意識しましょう。

※まごわやさしい：豆・ゴマ・わかめ・野菜・魚・椎茸・イモ
※さんさん運動：「3」を基準に目標をもちましょう。

●腹囲を3センチ減らす ●体重3kg減らす ●1週間3回以上30分程度、3ヶ月以上の運動など

※たちつてと：た食べるスピード控えめに「ち」ちよつとの距離ならウォーキング
「つ」疲れをためずぐっすり眠る「て」定期的に足をよく見る「と」ときには自分にこぼろびを

第18回 市民公開講座 無料

日時 平成29年5月20日(土) 14:00開演

会場 総合上飯田第一病院 南館8階 会議室

テーマ

〈演題1〉「肝心要(カンジンカナメ)な 肝臓の話」

知って得する
肝臓の話

〈演題2〉「食事で防ごう肝臓病」

〈演題3〉「肝臓治療と社会制度 あわせて アルコール依存症」

講師 総合上飯田第一病院 消化器内科第二部長 小田切 英樹

講師 総合上飯田第一病院 管理栄養士 酒井 晶帆

講師 総合上飯田第一病院 医療ソーシャルワーカー 榎田 吉儀

お問い合わせ・お申し込み | 総合上飯田第一病院 総合支援センター 地域医療連携室 TEL(052)991-3111

社会医療法人 愛生会

あいちゃんカフェ

『あいちゃんカフェ』では、認知症ご本人やご家族、認知症予防に関心のある地域の方を対象に、飲み物を飲みながらみんなでお話をする交流の場を設けています。看護師や介護士、作業療法士、医療ソーシャルワーカー、ケアマネジャーなどがスタッフとして従事しており、認知症予防体操やアクティビティ(ポチ袋づくりやポストカードづくりなど)を毎回実施しています。ご興味のある方はぜひ一度参加してみてください。

- 【日(に)ち】 毎月第3金曜日
- 【時 間】 14:30~16:00
- 【会 場】 総合上飯田第一病院 南館8階 みはらし亭
- 【参加費】 100円
- 【定 員】 先着20名
- 【プログラム】
 - * 飲み物を飲みながらお話し
 - * 認知症予防体操
 - * アクティビティ(内容は毎回異なります)

※要予約：詳細は本誌の裏表紙
をご参照ください。



あなたの体操 やってみましょう！

動物の名前を10個 挙げてみてください。

眼科とうもとクリニック

診療科目 眼科



院長 とうもと えいじ
東本 栄治

開業の経緯

平成4年名古屋市立大学卒業後同眼科学教室に入局し、眼科医としての基礎を学んだのち、名古屋市大病院眼科助手として勤務しました。そして知多厚生病院に赴任後、平成13年4月名古屋市北区如意に開業しました。



診療の傾向

- 大学病院で網膜外来を担当した経験から糖尿病網膜症・加齢黄斑変性等の網膜硝子体疾患の診断・治療を得意としています。
- 日帰り白内障手術や緑内障検診に対応しています。
- 学校医を3校任されていることもあって、斜視弱視の診断・治療や適切な生活指導、眼鏡処方に力をいれています。
- 年齢を問わず、あらゆる眼科疾患に対応しますが、必要なら躊躇わず適切な病院へ紹介しています。特に総合上飯田第一病院にはお世話になっています。



診療時間	月	火	水	木	金	土
8:30~12:00	○	○	○	○	○	○
15:30~18:30	○	○	○	○	○	○

休診日／火曜午後、木曜午後、土曜午後、日、祝日

〒462-0007 愛知県名古屋市北区如意2-95
TEL (052) 909-6700
FAX (052) 909-6707



皆さまへのメッセージ

患者さんが一生おつき合いしていただけるような信頼されるホームドクターを目指してこれからもがんばっていきたいと思っています。どうぞ宜しくお願い申し上げます。



社会医療法人 愛生会

NEW FACE

診療部ニューフェイス

よろしくお願いいたします

① 診療科・役職 ② 入職日 ③ 認定資格 ④ メッセージ



消化器内科 すぎき たかひろ
鈴木 孝弘

- ① 総合上飯田第一病院 消化器内科 医員
- ② 平成29年1月1日
- ③ 日本内科学会 認定内科医
- ④ 1月より消化器内科医として赴任いたしました。内視鏡検査を中心に、診断、検査、治療に携わっていきたいと思っています。

平成29年3月21日に 社会医療法人愛生会の入社式が行われました

看護師37名、介護福祉士1名、薬剤師1名、診療放射線技師1名、臨床検査技師1名、理学療法士2名、作業療法士2名、言語聴覚士3名、臨床工学士1名、事務職6名の計55名が入職しました。新人職員一同、患者さんのために一生懸命頑張りますのでよろしくお願いいたします。

総合上飯田第一病院

北館外来棟1階CT室

新機種導入のお知らせ



北館外来棟1階CT室に、最新型80列マルチスライスヘリカルCT (Aquilion Lightning/Helios Edition: 東芝メディカルシステムズ社)を導入しました。従来に比べ、少ない被ばく線量で、より短時間で広範囲、高画質の検査が可能となりました。装置の開口部が広くなったため、圧迫感が少なく、安心して検査を受けていただけます。

愛生会からのお知らせ 平成29年4月～6月

日時

場所

講師

糖尿病教室	毎月第1金曜日 10:30～13:30	総合上飯田第一病院 南館8階 会議室	医師・管理栄養士・ 理学療法士
糖尿病バイキング教室	2月・5月・8月・11月 第4木曜日 11:30～13:00		医師・管理栄養士
お問い合わせ・お申し込み／ 総合上飯田第一病院 内科外来 TEL (052) 991-3111			
マタニティヨガ教室 (費用 300円)	毎週火曜日 14:00～16:00		
母乳教室 無料	毎月第1土曜日 10:00～11:30	総合上飯田第一病院 南館8階 会議室	助産師
母親教室 無料	毎月第1・第3水曜日 13:30～15:30		
ファミリークラス 無料	毎月第1土曜日 13:30～15:30		
安産教室 無料	毎週金曜日 15:00～16:00	総合上飯田第一病院 北館2階 産婦人科外来	
YYサークル(育児サークル) 無料 ※授乳中のママが参加していますので、パパのご参加はご遠慮ください。	毎月第1・第3木曜日 14:00～15:00 対象 産後2ヶ月～1歳未満の「ママと赤ちゃん」	総合上飯田第一病院 南館8階 会議室	助産師など
お問い合わせ・お申し込み／ 総合上飯田第一病院 産婦人科外来 TEL (052) 991-3111			
あいちゃんカフェ (費用 100円)	毎月第3金曜日 14:30～16:00 対象 認知症ご本人やご家族、 認知症予防に関心のある 地域の方	4月21日(金)「こいのぼり作り」 5月19日(金)「うちわ作り」 6月16日(金)「編み細工」 総合上飯田第一病院 南館8階 みはらし亭	看護師・介護士・ 作業療法士・ ケアマネジャー・ 医療ソーシャルワーカー
お問い合わせ・お申し込み／ 各事業所または総合上飯田第一病院 あいちゃんカフェ事務局 TEL (052) 991-3111 内線6110			

予約受付中 人間ドック・各種健康診断

詳しくはホームページをご覧ください。



お問い合わせ 総合上飯田第一病院 健診センター TEL (052) 991-3111

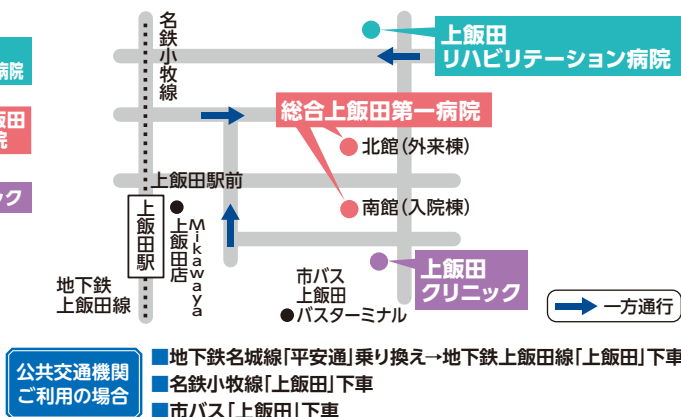
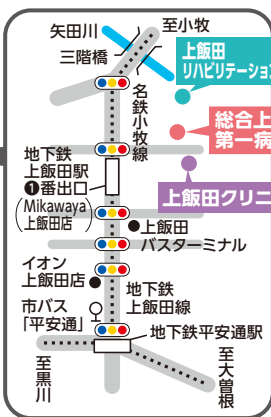
<http://www.kamiida-hp.jp>



社会医療法人 愛生会
Aiseikai Healthcare Corporation

理念 信頼され愛される病院

- 一、私たちは、「安心・安全の医療と介護」で地域に貢献します
- 一、私たちは、「地域の救急医療」に貢献します
- 一、私たちは、「地域と共に、人と共に」の心を大切にします



公共交通機関ご利用の場合
 ■地下鉄名城線「平安通」乗り換え→地下鉄上飯田線「上飯田」下車
 ■名鉄小牧線「上飯田」下車
 ■市バス「上飯田」下車

急性期

社会医療法人 愛生会
総合上飯田第一病院

- 一般病棟(7対1看護配置)
- 地域包括ケア病棟
- 訪問リハビリテーション

名古屋市中区上飯田北町2丁目70番地
TEL (052) 991-3111

回復期

社会医療法人 愛生会
上飯田リハビリテーション病院

- 回復期リハビリテーション病棟
- 通所リハビリテーション

名古屋市中区上飯田北町3丁目57番地
TEL (052) 916-3681

慢性期

社会医療法人 愛生会
上飯田クリニック

- 人工血液透析

名古屋市中区上飯田北町1丁目76番地
TEL (052) 914-3387

愛生訪問看護ステーション	名古屋市中区上飯田通2丁目37番地CKビル1階	TEL (052) 991-3210
あいせいケアステーション	名古屋市中区上飯田通2丁目37番地CKビル1階	TEL (052) 991-3152
あいせいデイサービスセンター	名古屋市中区辻本通2丁目38番地	TEL (052) 991-3548
愛生居宅介護支援事業所	名古屋市中区上飯田通2丁目37番地CKビル1階	TEL (052) 991-3546

教育

愛生会看護専門学校

名古屋市中区五反田町110番地の1
TEL (052) 901-5101

愛生会本部

名古屋市中区上飯田通2丁目37番地
TEL (052) 914-7071